

# 熊本子ども囲碁便り 67

2018.05.05

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

HP: <http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

電話: 096-288-0005

メール: [kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp](mailto:kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp)

## ■ ■ 第 25 回子ども囲碁交流大会

4月14日(土)に第25回子ども囲碁交流大会が、熊本市火の君文化センターで開催され、133名(19路盤:125名、13路盤:8名)の参加がありました。初めての会場でしたが、保護者の方や子どもたちの協力により、スムーズに準備および片付けをすることができました。

新学期ということで、13路盤デビューや19路盤デビューの子どもたちもおり、いつもよりフレッシュな気持ちでした。当日はあいにくの雨天で、ただでさえ室内が蒸し蒸しする中、子どもたちの熱気も相まって、会場で我が子を見守る保護者も汗ばむ様な、熱のこもった会場となりました。



### <交流大会全勝者>

#### 19路盤の部

宮本将伍(尾ノ上小5年)

井上芽朗(長嶺小4年)

高田聖仁(託麻西小6年)

原田世華(力合小6年)

福田悠剛(尾ノ上小5年)

岡 俊昌(出水南小4年)

片山聖陽(日吉小2年)

木村悠聖(尾ノ上小5年)

ツエルメグエレデネ(大江小3年)

河野晃緒(白川小1年)

松田悠成(東町小4年)

松尾和輝(富合小3年)

吉野 佑(力合さくら子ども園年長)

山浦有紀(白山小3年)

斉藤碧月(画図小3年)

高田桂誠(ピカソ幼稚園年長)

百田 桜(城山小5年)

坂上琥大朗(附属小2年)

新井純平(ルンビニ幼稚園年長)

#### 13路盤の部

奥村奏太(甲佐小1年)



## ■ ■ ボンド杯争奪 第 21 回全日本こども囲碁チャンピオン戦

ボンド杯争奪 第 21 回全日本こども囲碁チャンピオン戦が、3 月 29、30 日に京都の聖護院で行われ、小学生の部は宮本将伍君（尾ノ上小 4 年）が、中学の部は廣末直大君（帯山中 1 年）が出場しました。

大会 1 日目・2 日目共に快晴となり、川面に桜の花が咲き誇る、素晴らしい大会日和となりました。

全国の猛者が集結した大会だったため、代表として出場した子供たちにとっては、非常に良い刺激になったことと思います。

囲碁をしていて良かったと思うことは多いのですが、その一つには、大会に出場することで、全国に知り合いが出来、交流がもてるということがあります。

大会中の食事は、子ども同士、大人同士でとることになっており、自然と子供同士の会話が生まれていたように思えました。

今回は、結果こそふりませんが、子どもたちにとって貴重な 2 日間であったことは間違いなく感じました。と同時に、我々については、全国で引けをとらない代表選手（子どもたち）を育てていく責任を強く感じた大会でもありました。

（熊本こども囲碁普及会理事 板井太志）



（左）宮本君 （右）廣末君



会場の様子



大会当日に見られた満開の桜



食事の様子

## ■ ■ 第 6 回にんじんの里交流囲碁大会



第 6 回にんじんの里交流囲碁大会が 3 月 18 日(日)菊陽町杉並木公園管理センターで開催されました。会場のある公園は敷地も広く駐車場も整備され、天気の良い日には多くの家族連れで賑わいます。

本大会当日は春の穏やかな天気恵まれ、待望の桜も開花して、県内各地から集まった選手たちによる黒白を決する戦いの幕が切られました。

午前中は 3 名 1 組の団体戦、昼食をはさんでの午後は個人戦、各 3 試合の合計 6 試合を戦います。参加する選手は、保育園児から 80 代高齢者までの幅広年齢層と、男女の性別を問わないのがこの囲碁大会の特徴です。また、参加者は地元の菊陽町をはじめ、遠方は人吉市、阿蘇市のほか、菊池市、大津町、合志市、熊本市から総勢 77 名でした。

この大会では菊陽町の代表作物の“にんじん”をタイトルにしています。そして菊陽町、温泉交流ターミナル「さんふれあ」、株式会社「山内本店」様からご協力を頂いています。

毎年、賞品には人参や野菜、味噌や醤油などが用意されます。今年も入賞者には盾、メダルのほか副賞、参加賞には人参や野菜のほか味噌、醤油、饅頭等が贈られました。

囲碁は右脳の活性化に役立ち、判断力、創造力等の知的な教育効果を上げるといわれています。また、人間関係力や認知力などの維持・増進にも役立つと思われます。

会場ではおじいちゃんと孫が試合をするような場面が多々見られます。そして子供たちの成長の方が圧倒的に早いのに気づかれます。それは大会スタッフの一番嬉しくなる瞬間でもあります。日々、子どもたちを支え指導されておられる子ども普及会の指導者の方々、保護者の皆様に敬意を表します。

終日の熱戦は午後4時過ぎにすべての試合を無事終了。団体戦9チーム、個人戦27名が入賞を果たし、そのうち団体戦3チーム、個人戦9名の優勝者が誕生しました。

最後に本大会への参加者、支援を頂きました協力者、協賛者、保護者各位に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

(菊陽町囲碁振興会 西嶋巖)

## 大会結果 <子ども教室の生徒およびその保護者の入賞者のみ抜粋（学校および学年は大会当日のもの）>

### <団体戦>

#### Aパート

2位「ヒカルの碁スクール阿蘇」

大将：藤崎幸次郎（教室講師）、副将：渡邊行洋（熊大附属中2年）、三将：佐々木悠（高平小6年）

#### Bパート

3位「最強の騎士団」

大将：國松聡（託麻原小3年）、栗山莉一（砂取小4年）、上村越生（託麻原小2年）

#### Cパート

1位「ピノ」

大将：佐々木杏（白川小2年）、ツエルメグエレデネ（大江小2年）、佐々木圭（大江幼稚園年中）

2位「熊本母と子の囲碁教室」

大将：齊藤颯月（画図小4年）、高木丈翔（画図小5年）、高木蘭（画図小3年）

3位「デンジャラスおっさん」

大将：上村英樹（保護者）、佐々木一成（保護者）、東洋一（一般）

### <個人戦>

A 3位 藤崎幸次郎

B-2 3位 栗山莉一（砂取小4年）

B-3 3位 上田健心（東町小3年）

B-4 1位 國松聡（託麻原小3年）、2位 米田伊吹（人吉小4年）

C-1 1位 佐々木悠（高平小6年）

D 1位 高木丈翔（画図小5年）、2位 ツエルメグエレデネ（大江小2年）、3位 佐方優仁（砂取小3年）



## ■ ■ 第 2 回真和中高・熊大附属中合同囲碁研修会

昨年の、小・中学校団体戦県予選での対局がご縁となり、新年度を迎えてすぐの4月3日(火)に、第2回目の真和中高・熊大附属中合同研修会を行いました。今回は、板井先生にお願いして13時から熊本西囲碁教室をお借りし、四段から20級まで、計11人の参加がありました。帰省中だった真和高校OGの西山奈々先輩や、阿蘇から藤崎先生にも指導に駆けつけていただきました。真和からは女子高校生も4人参加し、憧れの西山先輩と女子トークもしたかったのですが、そんな暇もないくらい17時過ぎまで夢中で対局しました。趣旨をご理解いただき、快くご指導くださった先生方には、本当に感謝しております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

熊本西囲碁教室は、明るくて風通しがよく、また静かで、集中して囲碁に打ち込むにはとても良い環境だと思いました。少人数の交流会で、保護者同士も話がやすくて良かったと感想を頂きました。今年の団体戦では、どの学校も、去年の自分達より成長した対局が見られることを楽しみにしております。(水谷 勇斗・凌也の母)



一生懸命指導碁に向かう子どもたち

## ■ ■ 第 67 回祐徳本因坊戦熊本県予選

4月22日(日)日本棋院熊本県本部で、第67回祐徳本因坊戦熊本県予選が行われました。小学生の部に4名、中学生の部に3名出場し、リーグ戦で代表を決定しました。結果は以下の通りです。

<小学生の部>

尾ノ上小5年 宮本将伍君

<中学生の部>

帯山中2年 廣末直大君

代表の2名は6月9, 10日に佐賀県鹿島市の祐徳稻荷神社で開催される本戦に出場します。



## ■ ■ 第 33 回 RKK 杯争奪戦

3月4日(日)日本棋院熊本県本部にて、第33回RKK杯争奪戦が行われました。この大会は一度優勝した人は出場資格を失うというルールがある大会で、県内から腕自慢の17名の参加がありました。

今回は、3名の小学生達も参戦し、中でも託麻原小3年の國松聡君が1回戦2回戦を突破して、3位に入賞しました。一般の大会で小学生が入賞することはとても珍しく、今後の熊本囲碁界も楽しみだと感じました。

<3位入賞した國松聡くんからのコメント>

「大人の大会は、強い人がいっぱいいるので勉強になります。

来年は今回よりもっと食らいついて、結果が残せるように頑張りたいです。」



準決勝の様子

## ■ ■ 子どもたちによる囲碁普及

大人勝りで囲碁普及を頑張っている子供たちを紹介します。

### 自見英恵ちゃん

熊本地震で大分に転校した自見英恵（じみはなえ）ちゃん。熊本の託麻囲碁クラブから、大分の児童館の囲碁クラブに移り囲碁を続けていましたが、6年生の卒業を機に人数が減ったからと指導の先生がやめると言い出したそうです。そこで囲碁クラブの存続のために動いた英恵ちゃん！英恵ちゃんとお母様のがんばりを紹介します。

「英恵もいろんな子に声をかけて、自作のチラシを配り、人数を集めました。継続には不安もありましたが、新しく来てくれた子どもたちも囲碁を楽しみにしてくれていて、私と英恵で続けることにしました。月に1～2回位ですが、多いときは10人近く集まって囲碁で遊んでいます。とびとびなので棋力が上がらないのが悩みです。そして英恵のクラスで雨の日は囲碁教室ができていろんな子が来てくれているそうです。雨の度に、託麻囲碁クラブでもらった碁石を小さいタッパーに分け、9路盤を何枚か、囲碁雑誌なども数冊重たそうに持って登校しています。」（英恵ちゃんお母様より）

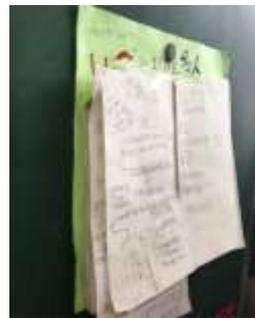
英恵ちゃんが囲碁の面白さを知ってほしいと囲碁新聞をつくり、クラスに掲示したそうです。興味を持ってくれるお友達も増え、囲碁教室は1年続き、3月、応募ボックスがいっぱいになる程の大盛況の囲碁大会が開かれました！全てをお友達と2人で企画作成し、担任の先生も驚かされるほどだったそうです。囲碁の楽しさを広めようとする英恵ちゃんの頑張り、クラスの皆もいい影響を受けているようです。

囲碁が英恵ちゃんの突然の転居などの困惑を救い、お友達や周りの方々とのつながりを作っているようで嬉しく思いました。

（熊本子ども囲碁普及会 中田靖子）



自見英恵ちゃん（中央）



囲碁新聞



学校のお便りで紹介されました

### 上村越生くん

託麻原小学校3年生の越生（こお）が、昨年クラスで、囲碁の入門教室を開催した話です。昨年の夏、託麻原小学校が団体戦で全国8位に輝いた後、当時6年生で3将を務めた舞永龍之介君が、『自分は卒業するから次の世代を育てなきゃ』とカッコ良く呟いたのを聞いて、越生の何かに火が付きまして(笑)。その時、補欠だった越生は、突然『僕が学校で入門教室をする！僕の次の世代を育てなきゃ！！』と言い出したかと思えば、京塚囲碁教室から紙製の碁盤と碁石を借り、クラスの先生に許可をとり、囲碁教室の開催となりました。我が子ながらその行動力には圧倒させられました。

囲碁教室は休み時間を使って不定期に開催され、越生が講師として約3カ月の間、約10人に囲碁のルールから対局までを教えました。

現在のところ、囲碁教室に通い始めるまで至ったお友達はいませんが、囲碁がどの様なゲームなのか、また、囲碁の魅力を少しでも伝えることができたのではと思いました。（熊本子ども囲碁普及会 上村英樹）



私たち熊本子ども囲碁普及会も、今回ご紹介した子どもたちに負けられない様に活動していきたいと思ひます。

## ■ ■ お知らせ

### TOTO杯ジュニア囲碁大会県予選

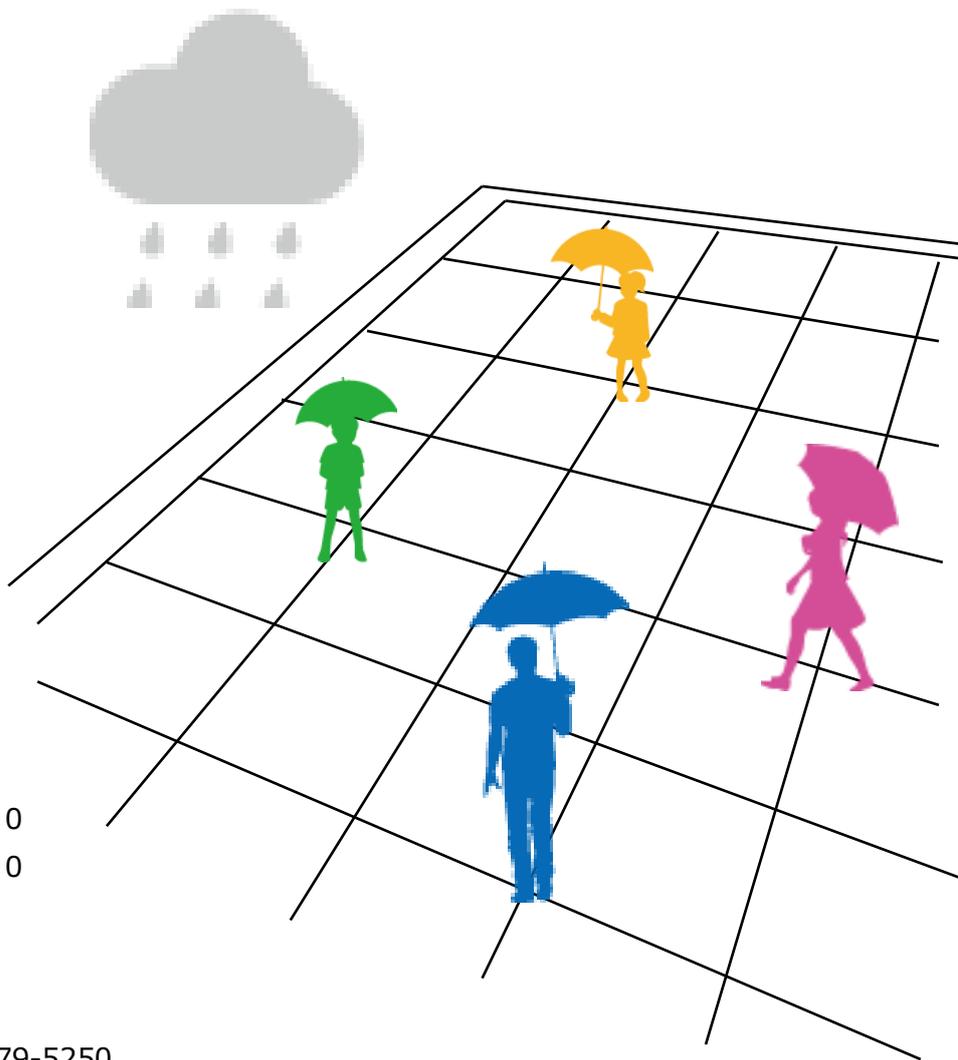
日 時：5月27日（日） 9:00～  
場 所：国際交流センター 5F 大広間 A  
参加費： 無料  
申込先：各教室、一般の方は事務局まで  
申込期限：5月20日（日）

### 小中学校囲碁団体予選

日 時：6月3日（日） 9:00～  
場 所：熊本市東部交流センター  
参加費： 無料  
申込先：各教室、一般の方は事務局まで  
申込期限：5月27日（日）

### 熊本子ども囲碁研鑽会

日 時：5月26日（土） 10:00～12:00  
6月23日（土） 10:00～12:00  
対象：県内在住の小中学生有段者  
場 所：熊本西囲碁教室  
参加費：500円（弁当なし）  
申込先：熊本西囲碁教室（板井）090-6779-5250



※お知らせは、ホームページにも公開しているので、ご確認ください。

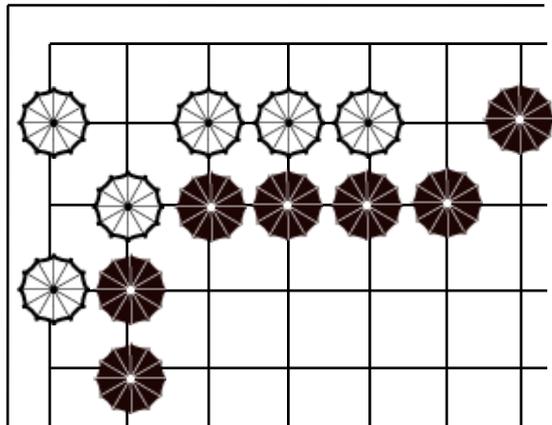
ホームページでは、本誌およびバックナンバーもカラーで見ることができます。

アクセスは、「熊本子ども囲碁普及会」で検索してください。（ URL:<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/> ）

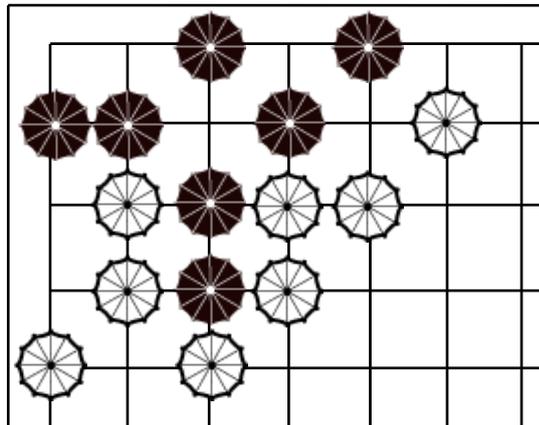
**編集後記**・・・毎年九州では5月末から7月中旬までは梅雨の到来で、雨が降る日が多くなります。季節にちなんで、今回のお便りのデザインは、“雨”にしております。雨の日は外出も億劫になりますよね。対策として最近僕は新しく傘を買いました。値段は今まで使っていた傘の10倍です！ というと凄いのですが、元の傘は350円です（笑）。しかし、新しい傘は今までと比較にならないほど傘が大きくて濡れないので、今までより雨の日の外出が億劫ではなくなりました。みなさんも今年の梅雨を乗り切るためにお気に入りの傘を新調されてはいかがでしょうか？（上村）

☆【傘詰碁】やさしい詰碁を自作しましたので、ぜひ解いてみてください。答えは教室の先生に聞いてください。

黒先白死（レベル：一目で10級くらい）



黒先黒生（レベル：一目で10級くらい）



## ■ ■ 会員一覧 主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。

### <法人会員>

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・ルンビニー幼稚園・R K Kカルチャーセンター・（有）草野企画・熊本ファミリーライフサービス・重光産業（株）・日本棋院人吉球磨支部・（株）三優・（有）エムティエス熊本・日の丸産業（株）・広瀬ヴァイオリンスクール・福田病院・熊本母と子の囲碁教室・（株）セーフティガード・全労済熊本県本部・（株）芦田・（株）熊本銀行

### <個人会員>

長田幸基・松本晴子・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・岐部英登・川口雄一・島田万里・田口信夫・風口英利・徳尾芳道・徳尾幸子・藤本和美・上野剛彦・奥村拓司・大原照久・新道哲也・湯村フク・寺尾敏子・満井浩一・下地明友・下地君代・田中力男・鶴山繁實・渡辺武・石塚正司・駒崎照雄・後藤修一・松尾孝・八塚敬子・竹屋純子・元田美智子・河原田隆・田坂照夫・宮永康男・江藤茂・江藤由久子・西徳義・坂田祇彦・江富佑子・古庄剛・大島國壯・永野昭人・毛利秀士・見寄裕一・酒井ちはる・中野昭二・坂口信春・坂口仁寿・川上龍一・大森貞夫・峰由香・坂田敏昭・定永道明・安田節爾・盛山恒子・奥園惣幸・隈部敏・岩崎敏江・大河内俊子・緒方夕佳・渡邊勉・ジャイルス仁美・須藤悦男・桂文裕・長尾睦生・前出洋・秋岡廣宣・後藤孝美・山城佐知・志垣裕二・井島敏幸・託麻囲碁クラブ保護者会・井沢重正・池田篤郎・佐藤英逸・中拂達・野崎照・中村寛・重野由紀・江藤剛・倉田千佳子・寺本博明・上田昭治・藤川雅朗・磯田麗子・高田若奈・熊須健一・吉田周一・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福間喜一郎・宮川秀樹・加来義晴・佐村雄二・磯谷重和・西山浩介・西山育子（敬称略）

## ■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

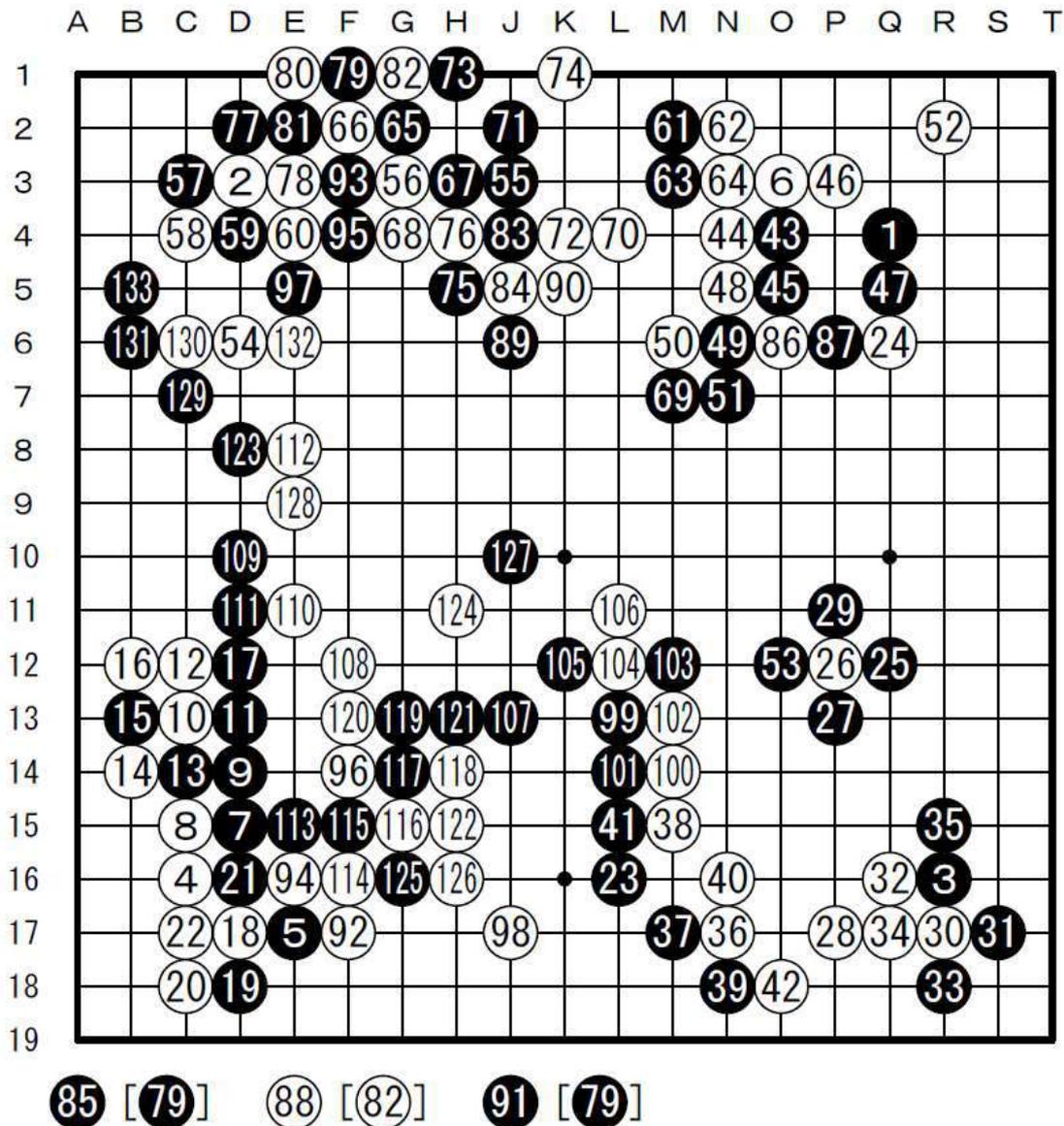
- R K Kカルチャーセンター 子ども囲碁講座（熊本市東区长嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆（熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室（熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室（熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通こども囲碁教室（熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）
- 京塚こども囲碁教室（熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室（熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室（熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会（熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原こども教室（熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 日本棋院玉名支部教室（玉名市岩崎 0968-74-4968）
- 日本棋院人吉球磨支部教室（人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」（阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室（菊池郡菊陽町津久礼 096-232-5697）
- 松尾東こども囲碁教室（熊本市西区上松尾 096-329-6951）
- 城南こども囲碁教室（熊本市南区城南町阿高 779-14 0964-27-7505）

## ■ ■ 棋譜

ジュニア本因坊戦九州地区熊本大会決勝

対局日：2018年2月18日 結果：黒中押し勝ち

黒番：日高陽光（佐伯市立蒲江翔南中学校3年） 白番：小島十二（大分市立金池小学校3年）



### 【観戦記】

2月に行われたジュニア本因坊戦九州地区熊本大会の決勝。熊本県からは16名の参加があったが、決勝まで勝ち上がったのは大分県勢となった。握って日高君の先番。

序盤、白24の両ガカリに対して黒は手抜きで下辺に展開。白は26のツケから28と下辺の荒らしに向かったが、ここは気合の上でも黒45と打ち封鎖をしたかった。また、白32では石が重いので、32では黒31の下に2段バネをすればサバキに困らなかったと思う。黒は先手で下辺をイジメて待望の黒43にまわり厚い碁形となった。

白54から第2ラウンド。黒55のフリウチに対して白56から黒をイジメにかかる。黒69のマガゲに対する白70は好手で黒73に対する白74は死活の急所。黒はコウにするしかなく白にチャンスが巡ってきた。よって白92のコウ立てが逸機。ここは白86に逃げ出すコウ材があり、それだと勝負はどちらに転んでいたかわからなかった。黒93とコウを解消しては黒が勝勢。後はしっかりと勝ち切った。

記) 肥後本因坊 内田直也 (NPO法人熊本子ども囲碁普及会理事)